

小学生のための人権 パート1 思いこみに気づく

実際の人権の課題を通して、「思いこみ」について考えさせる内容です。

テーマ1 「思いこみってなんだろう？」

今、日本にはホームレスの状態になっている人が数多くいます。このパートでは、ホームレスの人や支援する人々の言葉から、わたしたちが普段いだいでいる「ホームレス」の人についての思いこみを考えてみます。さらに、日常生活のなかで、いろいろな思いこみを持ったこと、思いこみをされたことなどを考え、理解を深めていきます。



テーマ2 「ちがいを受け入れる」

身体に障害のある、スクールカウンセラーの女性。彼女の暮らしの様子を通して、ちがいを受け入れることの大切さを学びます。また、男だから、女だからとか、外国人だからといった「思いこみ」だけで人を判断していることがないかを問いかけます。



小学生のための人権 パート2 大切なわたし 大切なあなた

事例や、いろいろな人へのインタビューを通して、大切なわたし、大切なあなたというテーマを子どもたちに考えさせる内容です。

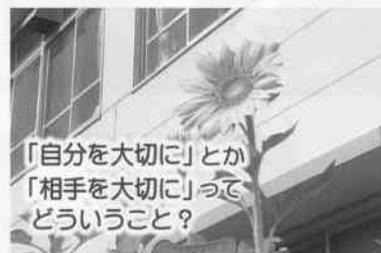
テーマ1 「きずつくこと きずつけること」

虐待をテーマに、人に大切にされる心が人を大切にする心につながることを学びます。小学生のときにネグレクトの状態にあったAさんは、施設に入り、あたたかい人間関係の中で自分を大切にする心を取り戻しました。また、子どもの虐待防止センターでは、身近な人に相談することの大切さを伝えます。



テーマ2 「大切な自分 大切なみんな」

ここでは、小学生から大人まで、いろいろな人にインタビューします。「あなたは自分のどんなところが好きですか？」「あなたは自分が大切にされているなと思ったことはありますか？」「他の人を大切にしているなと思ったことはありますか？」…いろいろな人の言葉を聞くことで、自分を大切にし相手も大切にすることはどういうことかを、子どもたち自身に考えさせるものです。



監修 人権教育の指導方法等に関する調査研究会議員 加須市立礼羽小学校 校長 増田 利之